



東御市文化協会報

せせらぎ

梅野記念絵画館・ふれあい館

第 25 号
平成 18 年 12 月 1 日
発行 東御市文化協会
印刷 東部プリント(株)

▲梅野記念絵画館・ふれあい館

東御市第二回 新春書き初め大会に思う

会場に清らかな風が

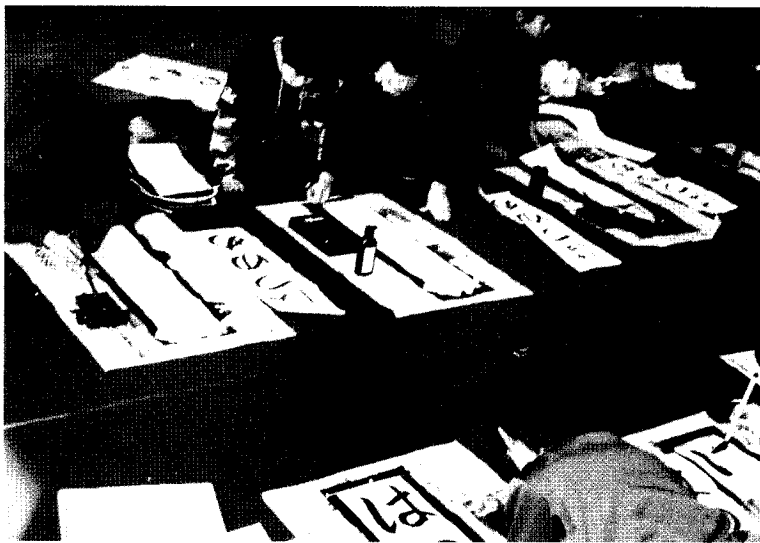
新春恒例の東御市書き初め大会が、今年も一月五日に開催されました。

好天に恵まれ公民館の講堂は明るい日差しを受けてポカポカ陽気でした。ところが七十名ほどの小・中学生が一齐に筆を執って白紙に文字を書きはじめると、広い会場に一瞬緊張感が走り、墨の香と共に清新な空気が流れました。どの子も一心不乱、書くことに集中していました。

幸いそんな雰囲気を持しながら、書道部会の指導者に導かれて、みんな時間内に各自の作品を書き上げることができました。参加した子どもたちは、後の会食を含めて、きつと満足して帰ったことと思います。

ところで墨を使い毛筆で文字を書く機会は、近年だんだん少なくなりました。便利なペンやマジックが日常化し、また携帯電話やパソコンなどの普及により、直接文字を書く必要性が失われてきたのかも知れません。事実伝統の書き初めをすることも少なくなり、年賀状も毛筆による手書きのものは、ほとんどお目にかかれませぬ。

しかし毛筆による文字は一番その人らしさが表現できる手段で、そのよさや面白さは決してなくなることはないと思います。そんな意味から公民館で主催する書き初め大会には、ぜひもつと多くの子どもたちに参加して欲しいと思います。(書道部会長 山岸一郎)



▲書初め



▲書初め

心豊かな東御市づくりを 目指した



東御市長
土屋 哲男

東御市が誕生し、三年目を迎えました。現在、昨年三月に策定した「第一次東御市総合計画」に基づいて、新たなまちづくりを粛々と取り組んでおります。

その一つとして、地域の伝統文化を守りながら新たな文化を創造し、生活の中に文化や芸術の薫りがするまちづくりを進めて参りたいと考えております。

昨年から建設を進めて参りました「晩霞記念館」は、本年一月三日に市文化会館の隣に開館されました。

歌舞伎などの地域の伝統文化が脈々と受け継がれており、また、文化振興に思いを寄せる方々の取り組みも非常に活発な本市において、新たな文化の発信基地になればと期待をしております。

市民一人ひとりが心豊かに暮らしていくためには、文化を守り育てていくことは非常に重要です。これからも文化協会のお力をお借りしまして文化の振興を図り、心豊かな東御市づくりを進めて参りたいと考えておりますので、ご理解ご協力をよろしく願います。

創る喜び、演ずる喜びを、みんなに



文化協会長
福島 慎雄

町村合併以降、文化協会も三年目を迎えました。その間二五グループ、二七八名の新しい仲間を迎えて、本年四月現在、三〇部会、二〇八グループ、会員一八五七名の組織となっております。

本年度も、音楽、芸術関係部会をはじめ各部会の発表会、作品展示会また、十一月には、総合文化フェス

ティバルのほか、昨年より高齢者センターのロビー展示場「ほめあいギャラリー」を開設していただき、各会員は、忙しい生活の中で、作品の創作、練習にと励む中から、心の豊かさを求め、創る喜び、演ずる喜びを感じながら、これらの目標に向け、活動を進めております。

小さな目標に向い、日夜地味な努力を進める中から、豊かな人間性の育成に、住みよい街づくりへの発展に向け、仲間みなさんをごさそって、楽しく活動を進めて行きますよう。

よい生き方への憧れ—文化の創造



東御市公民館長
今泉 正毅

この機会に改めて、自らが人間らしく、生きがいを持ち、共に生きるために、なぜ文化の創造が重要なのか、お互いに考えてみたいものです。

地域文化の一層の振興を図る東御市文化協会主催、第三回東御市総合文化フェスティバルに、協会所属の三十団体もの出品参加の喜ばしい盛況です。



東御市 丸山晩霞記念館オープン



丸山晩霞記念館が十一月三日にオープンしました。晩霞記念館を建設するにあたり遺族の皆さんより貴重な作品を寄贈して頂き、今回はその作品を中心に「丸山晩霞展」を十一月三日〜十二月二十四日まで開催する予定です。

丸山晩霞は、一八六七年（慶応三年）小泉郡祢津村に、農家の二男として生まれました。

十八才で上京して、祢津小学校や小諸義塾で図画教師として勤務しました。小諸義塾では島崎藤村と共に教鞭をとりました。

丸山晩霞は山岳風景を得意とする作家として知られ、アルプスや高山植物を多く描いています。

詳しくは、東御市生涯学習課文化振興係（〇二六八―六二―一三七〇）までお問合せください。

平成 18 年度東御市文化協会

功労賞表彰受賞者

四月十三日総会の式典において文化振興に尽された功績により左記の方々
が受賞されました。

功労賞表彰受賞者

絵画 荻原 芳雄
水墨画 栗田 保
川柳 上野 秀湖

感謝状受賞者

前副会長 小林 俊子
前監事 佐藤 充子



上野秀湖さん



栗田 保さん



荻原芳雄さん

平成 18 年度東御市文化協会
功労者表彰受賞者

川柳 上野 秀湖

受賞に際して

此の度は全く思いがけず栄えある受賞に浴しまして本当に恐縮しながらも嬉しく有難く感謝の念で一杯でございます。

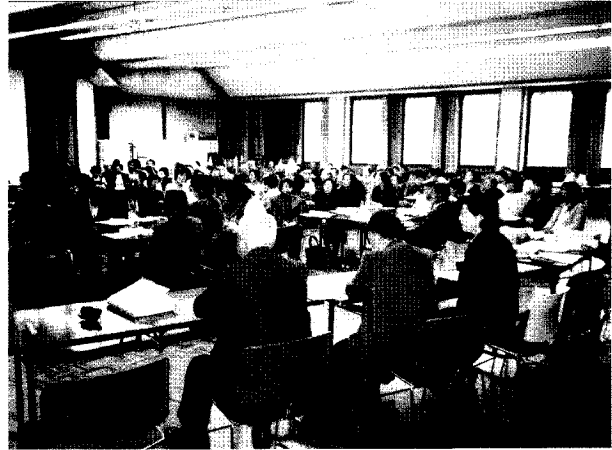
文化人として錚々たる方々が大勢いらっしゃるのに私如きがと身の縮む思いでした。

「川柳は人也」とよく云われますが、人間そのものを丸ごと表現している作風と何の規約もない気軽さに惹かれました。

特に私が好きなのは会場で突然発表される席題を作句する時の皆さんの真剣な雰囲気、咳一つ出ないそんな緊張感が大好きです。

私達仲間何事にもこだわらない大らかな連帯感が二十余年も続いて来た原因だと思えます。いい柳友に恵まれたことを感謝しつつ、これからも頑張っ

て行きたいと思えます。



文化協会総会

平成十八年度

第三回東御市菊花展受賞者

- | | |
|-----------|-------|
| 市長賞 | 依田 泰明 |
| 議長賞 | 寺田 廉 |
| 教育委員長賞 | 柳沢 貞夫 |
| 菊花会長賞 | 高木 文江 |
| 公民館長賞 | 中内 勲六 |
| 文化協会会長賞 | 内堀 英一 |
| 市商工会会長賞 | 寺西 英一 |
| J A 信州うえだ | 別府 俊勇 |
| 農協組合長賞 | 別府 俊勇 |
| 八十二銀行 | 別府 俊勇 |
| 田中支店長賞 | 別府 俊勇 |
| 上田信用金庫 | 別府 俊勇 |
| 東部支店長賞 | 別府 俊勇 |
| 菊花会特別賞 | 別府 俊勇 |



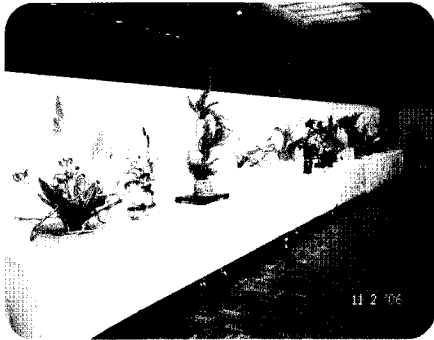
小林 孝子(新屋)
和小学校

岡本 愛子

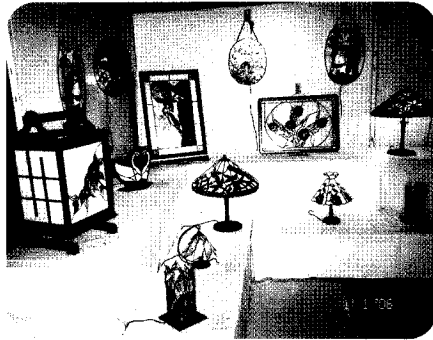


平成18年度 東御市総合文化フェスティバル

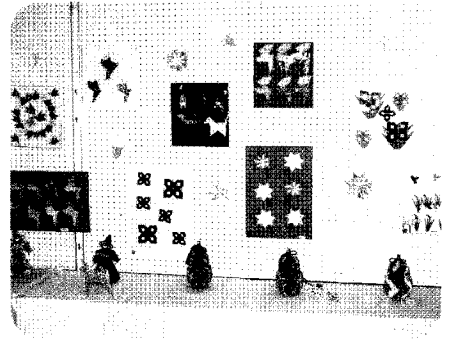
第3回 11月3日～5日 中央公民館



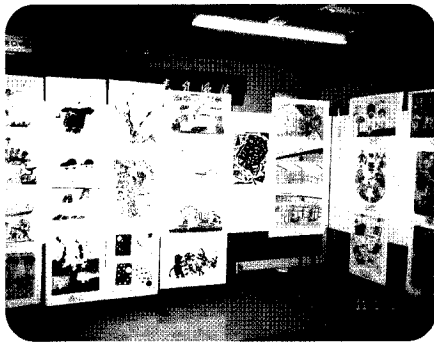
▲季節の生花がきれいです



▲美しいスタンドグラスのあたりです



▲折り紙の会の作品です



▲小学生の作品です



▲指先に心をこめて描いたちぎり絵です



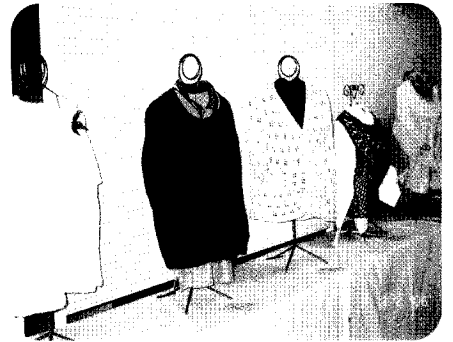
▲型、彩、素敵ですね。造ってみたいくなります。



▲東部中学校の生徒の力作です



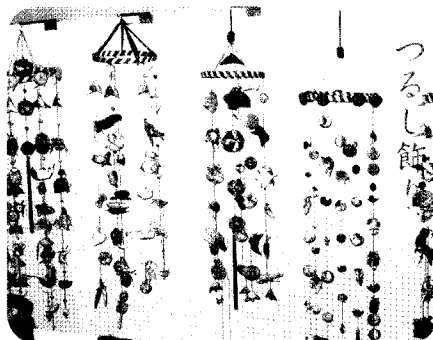
▲北御牧中学校の生徒の作品 見事です



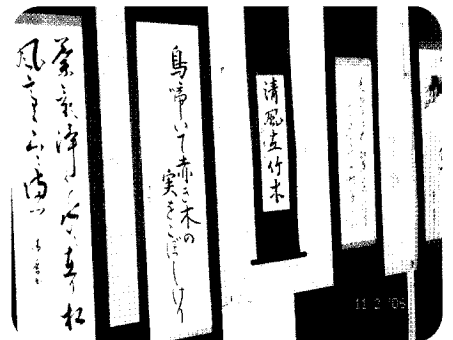
▲一目一目心の籠った作品 温もりを感じます



▲神経を集中して立派な作品になりました



▲丹精こめた吊し飾りです
(孫子に伝えたいですね)



▲水茎の跡 美しく…

川柳部会

「とうぶ川柳吟社」

代表 荒木 正俊

「とうぶ川柳吟社」は田沢の田中蛙声氏の奔走に依り、昭和五十九年九月に発足し、当時会員は八名でした。その後高齢の為退会した人、又入会した人あり、会員の入れ替りがあり、現在十三名で運営しています。

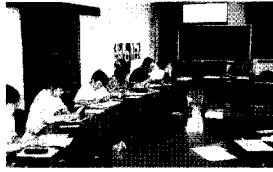
主な年間句会と特徴的な活動

月例会を毎月一回行い会員相互の親睦と、川柳向上に精進しています。川柳誌「とうぶ川柳」は、年六回発刊し、現在通刊一〇五号となり、例会の成果を保存しています。又全国川柳大会、県川柳大会及び、長野、篠ノ井、松代、小諸、上田六文銭等、各吟社主催の川柳大会に参加し「とうぶ川柳」の名声を高めておられます。

尚親睦川柳大会を年三回温泉で行い、宿泊での親睦は格別の楽しさがあります。又各吟社主催の川柳大会を通じて、県内多くの人と親交交流は楽しいものです。

今後の課題と展望

会員の高齢化に依り、会員の漸減も見られるので、川柳の普及と会員の増加を願って、生涯学習の川柳講座七名、滋野川柳講座十名程で川柳人口の増加を期待しています。又北御牧地区からの参加も望んでいます。短歌型文学祭の機会に、小中高生への普及浸透を図っています。



合唱部会

コールアカシア
『頑張つてます!』

代表 黒沢美恵子



私達コールアカシアは、公民館活動から独立して20年余りになります。当時17名の団員でしたが、今はわずか10人のメンバーで月2回、北御牧総合支所の講堂に集まり練習に励んでおります。曲想が思うように表現できなったり戸惑うことも多いのですが、指導者の先生には温かく辛抱強く支えていただいております。年一回の母親コーラス祭りだけではなく、東御市文化協会合唱部にも入れていただき、発表の場が増えました。発表会のたびに素敵な曲に出会い、ハーモニイを楽しんでいます。平均年齢はちよつと高めですが、心豊かな感動を求めてこれからも楽しく歌い続けていきたいと思っております。

絵画部会

絵画好遊倶楽部 まるにえ
自然の中で絵を描く喜び

代表 宮坂 武雄

絵画好遊倶楽部「まるにえ」はいきいき生涯学習塾油絵講座の受講生OBを母体として平成十四年九月に発足しました。

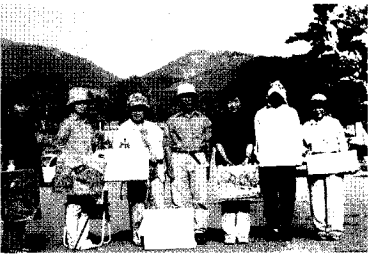
活動の拠点である中央公民館の庭に咲くマロニエの木(トチの木科)にちなみ会の名称としました。

油絵を主に講師の桶田明夫先生(第一美術協会審査員)のご指導で市内を中心に周辺地域の素晴らしい風景を訪ねて写生しています。その間に各地の美術展の鑑賞などそれぞれの向上にも資しています。

本会は、絵の好きな仲間が、絵を楽しみながら交流している会ですが、写真先の昼食場所等での絵を通しての会話も大きな楽しみのひとつです。

講師が指導されている上田・真田・東御(ニグループ)の四教室が、毎年十月に東御市文化会館で開催している合同展をメインに、年間数回、近くのギャラリーを利用して展示会を開いています。

現在、会員は十名ですが男性会員が少ないので共に楽しめる絵の好きな仲間が増えることを願っています。



文芸創作部会

声を出して本を読む会
『ほたる』

代表 別府 明子

声を出して本を読むこと。子供達に読んであげること。そんな機会も無く過ごしてきたような気がします。

そこで、自分達で本を選び、声を出して読み、相手の心にどのように響くかお互いに意見を交換しあい、やがて保育園、小学校、児童館に出向いてお話しをし、少しでも子供達の成長の一部にお役に立てたら、また会員の社会参加が出来たら、そんな思いを持つ十二人程の仲間が集まり頑張つて毎日励んでおります。

月一回程度、稲垣先生のご指導により、読み聞かせの基礎的な知識について、細かな教えをお聞きし、その奥の深さ、難しさにまったくの素人の私達は少し不安を感じました。でも皆熱心に勉強し、回を重ねるごとに上達してきたように思えます。

折々プロの方々のお話も拝聴して参考にしています。六月には、祢津保育園で二回子供たちの前で絵本を読んで聞かせました。

「ほたる」あの小さな青白い光のように子供達の純な心の中にやさしい小さな光を届けたい。そんな願いを込めて付けた会の名称です。(月に八回ほど出向いております)



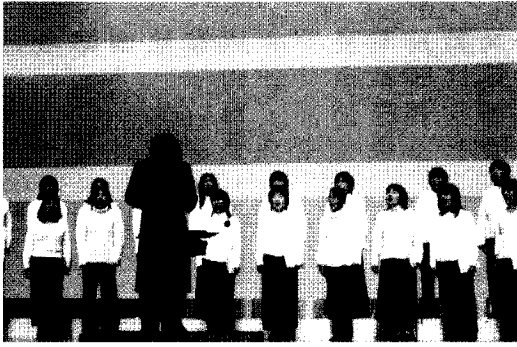
合唱部会

響け歌声

前部会長 黒柳 隆次

東御市文化協会合唱部会主催の、第二回東御市合唱祭が、平成十七年十二月三日午後五時三十分より、文化会館サンテラスホールで開催され、美しくハーモニーを響かせました。

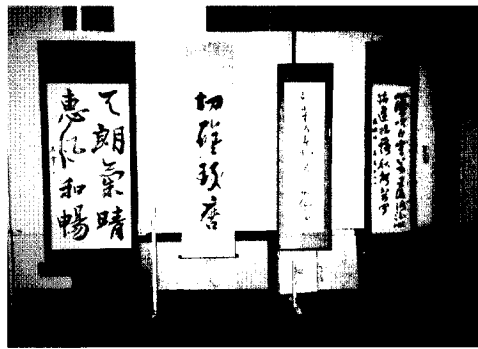
この合唱祭には、合唱部会加盟十三グループの他、くるみ児童合唱団、東部中学校合唱部・コールレインボーの十三グループが、一年間の練習の成果を発表しあい、市の合唱愛好者の皆さんにもお聞きいただき、また、会場の皆さんと「里の秋」を全員で歌ったり、最後には、とうみ混声合唱団の高木先生の指揮で「大地讃頌」の大合唱をし師走の夜の楽しいひとときを過ごしました。



書道部会

第二回書道部会
会員展について

部会長 山岸 一郎



書道部会では昨年節目の記念展を開催しました。それで本年は平常に戻り、新たな出発となりました。

今回の会員展で一番よかったことは百二十人もの会員が出品したことです。北御牧からも二十点ほど出ました。多数の出品を得て総合展の特色が一段と発揮されたように思われます。漢字、かな、調和体、篆刻刻字の分野にわたり、書体書風も誠に様々さらに作品の大きさや表装までもバラエティに富み、広い展示会場も見ると楽しさが溢れていました。個性や創造性がにじむ力作がかなり並んでいたように思われます。お陰で参観者も多く好評のうちには終了することができました。これからも息の長い活動を続けていきたいと思えます。

俳句部会

「耀き」木耀句会

木耀句会長 富岡 博見

私たち俳句グループ「木耀句会」はこの度句会百回を記念して合同句集「耀き」を発行した。会員十七名と元会員七名で一人十句四十頁とごく小さい句集であるが先生に命名していただいた「耀き」の題のように小さいながらもピリツとした句集ができたと自負している。

木耀句会は、平成十年東部高等学校の学校開放講座「楽しい俳句入門」で一年間学んだ仲間で結成された勉強会である。

当時から実にご指導いただいた窪田英治先生（東御市八重原染谷丘高校在籍）のもと現在十七名で毎月の句会、年二、三回の吟行会を行い勉強している。

会員は、市の短歌型文学祭や他市の文学祭や各地の句会に出品し良い成績を納めている。

まだ足しして八年程であるが記念句集の発刊を期に更にがんばろうと張り切っている。



合唱部会

合唱部会より

部会長 庄村 茂



今年度、市文化会館は開館15周年を迎え、これを記念し11月25日（土）、午後2時よりサンテラスホールにて、市民合唱団による記念コンサートが開催されました。

演奏曲は15年前の会館柿落しに歌った、カンタータ「土の歌」。指揮はやはりその時の佐藤真先生にお願いをしました。応募された合唱団員百五十余名による、結団式も4月16日に行い、その後、月2回の夜の練習をしました。

当日は群馬交響楽団のオーケストラに乗せ、感動の演奏会となりました。

